



奈良県感染症情報

令和5年 第32週(8月7日～8月13日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

新型コロナウイルス
感染症増加中!

今週の概要

- 新型コロナウイルスの特徴を踏まえた自主的な感染対策を心がけましょう
- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	新型コロナウイルス感染症	14.00	(17.31)	➡	↗	↘	↗
2	A群溶連菌咽頭炎	1.71	(2.94)	↘	↓	↘	↘
3	感染性胃腸炎	1.53	(3.06)	↓	↓	↘	↓
4	インフルエンザ	0.69	(0.51)	↗	↑	↗	↗
5	RSウイルス感染症	0.65	(1.21)	↓	↓	↓	↘

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↗**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**➡**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

◆ 県内概況 ◆

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は14.00です。報告数が急激に減少している医療機関が複数ある一方で、増加している医療機関もあることから、三連休やお盆などの休診が影響している可能性が考えられます。お盆には人の往来の機会も増えるため、引き続き体調の変化に気をつけて、感染予防を心がけましょう。

A群溶連菌咽頭炎(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎)の定点当たりの報告数はやや減少しましたが、こちらも休診の影響が考えられるため注意して下さい。A群溶連菌咽頭炎の治療には、抗生物質が効果的です。咽頭痛がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

◆ 新型コロナウイルスの特徴を踏まえた自主的な感染対策を心がけましょう ◆

「換気、消毒、距離、必要な場面でのマスクの着用」が

3つの感染経路(エアロゾル、飛沫、接触)の遮断に有効です。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

COVID-19感染症は多い。アデノウイルス感染症が乳児に見られる。
 各年齢に感染性胃腸炎が見られる。インフルエンザや溶連菌感染症の陽性例は無い。
 熱と咳が遷延するウイルス性と思われる気管支炎が散見される。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

COVID-19患者は増加しているが一律という程ではない。症状は軽症で無熱、微熱程度の例も多い。
 A群溶血性連鎖球菌、hMP肺炎、アデノなど他の感染症も雑多に見られる。
 乳児RSはなかった。乾性咳嗽のしつこい感染症が年長児に見られる。
 嘔吐は少なく水様下痢中心のウイルス性様の感染性腸炎も流行中。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

COVID-19感染症は増加している。
 遷延する呼吸器感染症ではRSウイルス、ヒメタニューモウイルス陽性者が多い。入院必要例もある。
 また百日咳も散見されているが、ワクチンの影響か症状は典型的ではない。
 ヘルパンギーナの流行はおさまりだした。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 5 年 第 32 週 8 月 7 日 ~ 8 月 13 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		
インフルエンザ/COVID-19定点数	55	14	11	10	6		
インフルエンザ	38 (0.69)	4 (0.29)	12 (0.86)	10 (0.91)	11 (1.10)	1 (0.17)	
新型コロナウイルス感染症	770 (14.00)	116 (8.29)	310 (22.14)	144 (13.09)	70 (7.00)	130 (21.67)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	3	
RSウイルス感染症	22 (0.65)	1 (0.11)	2 (0.22)	9 (1.29)	6 (1.00)	4 (1.33)	
咽頭結膜熱	22 (0.65)		5 (0.56)	6 (0.86)	9 (1.50)	2 (0.67)	
A群溶連菌咽頭炎	58 (1.71)	5 (0.56)	5 (0.56)	7 (1.00)	40 (6.67)	1 (0.33)	
感染性胃腸炎	52 (1.53)	6 (0.67)	13 (1.44)	2 (0.29)	31 (5.17)		
水痘	4 (0.12)	1 (0.11)	1 (0.11)	1 (0.14)		1 (0.33)	
手足口病	16 (0.47)	1 (0.11)	7 (0.78)	6 (0.86)	2 (0.33)		
伝染性紅斑							
突発性発しん	10 (0.29)	1 (0.11)	2 (0.22)	3 (0.43)	4 (0.67)		
ヘルパンギーナ	19 (0.56)	2 (0.22)	6 (0.67)	5 (0.71)	5 (0.83)	1 (0.33)	
流行性耳下腺炎							
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	8 (0.80)	4 (1.33)		3 (1.50)	1 (0.50)		
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	
細菌性髄膜炎							
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核10件(奈良市1、郡山2、中和7)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症3件(奈良市3)
4類感染症	レジオネラ症1件(奈良市1)
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(中和1) 侵襲性インフルエンザ菌感染症1件(中和1) 水痘(入院例)1件(中和1) 梅毒3件(郡山2、中和1)

❖ 第 32 週のトピックス ❖

◆日本の輸入デング熱症例の動向について(国立感染症研究所HP)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/dengue-imported.html>

※データは報告数集計の速報値として公開するものであり、後日奈良県感染症情報(週報)、さらには確定データとしての年報において修正される場合があります。

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男					1	1	2		1	3	1	2	4	1	2	2	2				22	4470	
	女					1	2	2		1	1	1	4	2	2	2	2	2				16	3803	
新型コロナウイルス感染症	男	2	2	12	9	4	7	8	2	5	9	5	25	20	37	44	35	36	45	38	22	367	3070	
	女	2	3	6	8	3	7	7	5	6	5	20	23	52	49	45	54	43	42	23	403	3604		
RSウイルス感染症	男	1	3	5	3	1																13	1030	
	女	1		5	1		1		1													9	875	
咽頭結膜熱	男				1	5	2	1	2	1												12	242	
	女			1	2	1	2	2	1	1												10	182	
A群溶連菌咽頭炎	男			1	3	2	2	2	6	7	1	1	4	1								30	671	
	女			2	4	4	3	3	4	3		1	3		1							28	509	
感染性胃腸炎	男	1		3	2	3	4	1	3	2					4							23	3074	
	女		2	5	4	4	4	4	2	1	1		1		1							29	2509	
水痘	男						1								1							2	49	
	女						1			1												2	34	
手足口病	男		2	6	2	2	1	1														14	172	
	女			1	1																	2	125	
伝染性紅斑	男																						5	
	女																						5	
突発性発しん	男		2	2																		4	162	
	女			6																		6	125	
ヘルパンギーナ	男	1		2	3	4				1												11	823	
	女		1	2	1	1	3															8	673	
流行性耳下腺炎	男																						11	
	女																						16	
急性出血性結膜炎	男																						3	
	女														1	1						5	72	
流行性角結膜炎	男																2		1	2		3	79	
	女																							
細菌性髄膜炎	男																						3	
	女																						5	
無菌性髄膜炎	男																						1	
	女																						2	
マイコプラズマ肺炎	男																						1	
	女																							
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1	
	女																						1	

◆注目疾患の動向◆ 全て定点当たり報告数

